

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎に注意

1 ノロウイルスとは？

乳幼児から成人までの幅広い年齢層に、胃腸炎をおこすウイルスです。

特に冬季が多く、年間を通して発生しています。

感染力が強く、少量でも発症し、ノロウイルスに一度感染した患者でも、繰り返し発症・感染します。

この秋以降発生している集団感染で検出されているノロウイルスは、今までの型とは違うことがわかり、流行が拡大する可能性があります。

また、この型は現在つかわれている診断キットによる検出感度が低く、ノロウイルス感染症と診断されず、感染予防対策の遅れにつながる恐れがあります。

2 感染経路

ノロウイルスに感染した人が、十分に手洗いを行わず、ウイルスが手についたまま調理し、その食品を食べた人が感染します。

ノロウイルスに感染した人のふん便や嘔吐物を処理した後、手指にウイルスがついていると、口から取り込まれて感染します。

また、ふん便や嘔吐物が乾燥して舞い上がり、口から取り込まれて感染することもあります。

3 症状

発症するまでの時間は、24～48時間です。

症状は、下痢、嘔吐、腹痛、発熱などで、通常3日以内に回復しますが、ウイルスは感染後1週間程度ふん便中に排泄されています。

自覚症状がなくなってもウイルスの排泄が続く事があります。

(良くなったようでも、まだ完治していない)

4 感染予防対策

手洗い・うがいを日常的に習慣づけることが、感染予防の基本です。

食事前、排泄後には、石けんと流水で、ていねいに手を洗いましょう。

外出の有無にかかわらず、うがいを積極的に取り入れましょう。

